

# コリスチンとは

- *Bacillus polymyxa* var. *colistinus*から得られたポリペプチド系抗生物質
- 細菌の外膜に結合し、強力な短時間殺菌作用が特徴
- 大腸菌、サルモネラ、緑膿菌等一部のグラム陰性菌に対して強い抗菌活性
- 食品安全委員会においては、「ヒト用抗菌性物質重要度のランク付け」において、「I：きわめて高度に重要」とランク付け
- コリスチン耐性に関与する伝達性の遺伝子 (*mcr-1*) が、2015年11月に中国で報告

## ヒト

日本では1960～1970年代にグラム陰性桿菌感染症の治療薬として臨床使用



腎機能障害等の安全性上の問題や、他の抗菌薬の開発とともに使用頻度が減少し発売中止

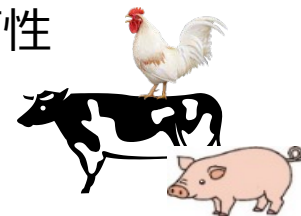
多剤耐性グラム陰性菌による感染症が、近年臨床的な問題となり、2015年3月にコリスチン注射薬が承認、再発売

## 家畜

日本では、1950年代から、硫酸コリスチンの

- 飼料添加物（鶏、豚、牛）
- 動物用医薬品（牛、豚の細菌性下痢症）

を使用



欧州においても、主に豚及び子牛に対して、1950年代から使用（2006年以降、成長促進目的の使用は禁止）